

施策評価調書(21年度実績)

政策体系	施策名	豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造	施策コード	I-1-(1)
	政策名	恵まれた環境の未来への継承 ～ごみゼロおおいた作戦の推進～	主管部局名	企画振興部
			担当課室名	景観自然室
施策概要	本県は、豊かな自然や温泉に恵まれているが、その恵みを将来にわたり享受していくため、県民全体でこれらの資源を保護・保全していく体制づくりに取り組むとともに、適正利用を推進する。また、環境に負担の少ない社会資本整備に努めるとともに、農山漁村の持つ多面的機能の維持・再生を図る。			

【評価指標】

主な取組		指標		基準値		21年度			22年度	27年度
				年度	基準値	目標値a	実績b	b/a	目標値	目標値
①	自然や生態系の保護・保全と適正利用の推進	i	特に保護が必要な希少野生動植物の指定数	-	-	14	17	121.4%	15	20
		ii	環境保全活動を行うNPO法人数	16	76	128	193	150.8%	140	180
②	温泉資源の保護と適正利用の推進	iii	利用者にわかりやすい温泉表示認証件数	-	-	180	221	122.8%	200	250
③	快適な地域環境の保全と創造	iv	県民1人当たりの都市公園面積(m ²)	16	10.8	11.6	11.8	101.7% (H20)	12.0	13.0
		v	中山間地域の集落活動(集落協定締結面積割合)	16	75.0	79.6	79.3	99.6%	80.0	85.0
		vi	漁場再生面積(ha)	-	-	11,000	13,831	125.7%	11,000	19,000
						平均達成率(%)		120.3%		

【業績評価】

No.	業 績 評 価		平均 評価
i	達成	条例に基づく指定希少野生動植物を新たに2種指定した。	
ii	達成	環境保全活動を行うNPO法人数は順調に増加している。	
iii	達成	利用者にわかりやすい温泉表示認証件数は各温泉施設の協力を得て、目標を達成した。	
iv	達成	都市におけるオープンスペースは着実に増加している。 なお、21年度の実績は10月に確定することから、目標値及び実績値は20年度の数値を記載している。	
v	概ね達成	集落営農組織の育成や共同利用機械・施設の導入が進み、農産加工や都市と農村の交流等の多彩な取組が行われ、地域の活性化が図られ、概ね目標を達成した。	
vi	達成	海底の堆積物の除去や耕耘を行うことにより、生産性の低下している漁場の生産力の回復と水産資源の生息場の環境改善が図られ、目標を達成した。	達成